

朝日村の紹介

(その1)

	あさひむら		〒997-0492 東田川郡朝日村大字下名川字落合1番地		TEL 0235(53)2111		FAX 0235(53)2119		
	朝日村		類型	2	地域指定等	特豪 過疎 山村 辺地 農工 奥地 電源 リゾート 拠点都市			
	地名由来	磐梯朝日国立公園に連なる朝日連峰の麓に位置し、朝日は昇天の勢いをあらわすことから、新村の発展を象徴するものとして命名された。				村の木、花 ぶな かたくり			
地勢	庄内地方の最南端に位置し、南北36km、東西25kmのほぼ長方形に近い形をしている。東に月山、南に朝日連峰の以東岳等があり、山地率94%の純山村である。多雨多雪地域であり、積雪量2m以上の豪雪地帯である。								
地域の特性	弘法大師が湯殿山を開山して以来、霊場へ向かう六十里越街道沿いの村として、また磐梯朝日国立公園を奥座敷に持つ美しい村として発展してきた。庄内南部地区の42%を占める広大な面積のうち国立公園が45%を占める自然環境に恵まれた村であるとともに、3つのダムを有する電源、水源の村である。月山の裾野から朝日連峰まで霊山・秀峰が連なり、湯殿山神社や即身仏をまつる名刹、幻の巨大魚、世界でただ1人の熊鷹の鷹匠、多層民家、バンジージャンプ、山ぶどうを原料とする月山ワインなど、多彩なポテンシャルにあふれている。冒険と癒しと創作の大地、アウトドアと野遊び天国、住む人のための通年リゾートを目指している。								
沿革	昭和29年8月1日 朝日村設置(大泉村、本郷村、東村合体)								
区分	人口(人)	世帯数(世帯)	高齢化率(%)	総面積		林野面積割合	可住地面積割合	D I D s 人口(平成12年国調)	
昭和40年国調	9,722	1,854	7.2	569.17km ² (県内2位)		93.7%	3.9%	- 人 (県内 - 位)	
昭和50年国調	7,386	1,654	12.7	昼夜間人口比(平成12年国調)		87.1%(県内30位)	人口密度(平成12年国調)		10.3人/km ² (県内44位)
昭和60年国調	6,711	1,499	17.1	産業別就業人口(平成12年国調)			住民基本台帳人口(平成14年3月末)		有権者数(平成14年6月2日)
平成2年国調	6,570	1,493	20.0	第一次産業	371人	12.6%	男	2,829人	男 2,230人
平成7年国調	6,309	1,418	24.9	第二次産業	1,395	47.5%	女	3,057	女 2,468
平成12年国調	5,864	1,368	28.7	第三次産業	1,179	40.0%	計	5,886	計 4,698
同上県内順位	41位	42位	5位	計	2,945	100.0	出生率(平成13年)		5.6%(県内44位)
農業粗生産額(平成12年)	143千円(県内41位)		製造品出荷額等(平成13年)		259千円(県内42位)		年間商品販売額(平成11年)		379千円(県内39位)
三役	村長 佐藤 征勝 (任期 平成18年 2月 6日 1期目)			議 会	議長 小野 寺賢治			党派別議員数(平成14年6月1日)	
	助役 渡部 和雄 (任期 平成18年 3月 31日 1期目)				副議長 進藤 篤			無所属 15 日本共産党 1	
	収入役 帯刀 春男 (任期 平成18年 3月 31日 1期目)				議員定数 16人(法定定数 22人)			議員任期 平成15年4月30日	
行政組織機構	村長 助役 総務課・企画課・住民課・健康福祉課・農林課・建設課・環境整備課			職員数(平成14年4月1日)					
	収入役 出納室			一般行政			87人		
	議会 事務局			特別行政			22		
	教育委員会 事務局			公営企業等			13		
	農業委員会 事務局			病院			2		
選挙管理委員会			公平委員会(委託)			水道			3
監査委員			固定資産評価審査委員会			その他			8
			(平成14年4月1日)			合計			122
一部事務組合加入状況	山形県消防補償等組合(44市町村) 山形県自治会館管理組合(44市町村) 山形県市町村職員退職手当組合(9市31町村) 鶴岡市ほか六箇町村衛生処理組合(1市6町村) 山形県市町村交通災害共済組合(2市26町村) 東田川郡町村組合(7町村) 庄内広域行政組合(2市12町村) 鶴岡地区消防事務組合(1市6町村)								
協議会加入状況	庄内地区視聴覚教育協議会(2市12町村)								
財産区									
公社及び主要第三セクター	(株)湯殿山観光開発公社 (株)月山あさひ博物村								

朝日村の紹介

(その2)

特性を活かした行政活動と最近の状況	<p>中山間地という地理的条件を活かし、ぜんまい・わらび等の山菜や山ぶどう、そばの栽培を推進するとともに、ハウスによる促成栽培、雪室の活用による抑制栽培など、周年を通じて農家の所得向上に努めている。平成14年秋には「第1回庄内あさひ新そばまつり」を開催し、好評を得ている。</p> <p>また、豊かで美しい自然を観光資源と捉え、オートキャンプ場、湯殿山スキー場、バンジージャンプ、月山ダム周辺環境整備など積極的に展開し、トレッキンググループにのり、旧六十里越街道の復元にも取り組んでいる。さらに、庄内の玄関口として、高速道路のインターチェンジ脇に産業団地の造成を行い、企業誘致に努めている。</p>										
基本構想	第3次朝日村総合計画 平成7年12月20日議決 計画期間 H8～17年度					基本計画		第3次朝日村総合計画 平成7年12月20日 計画期間 H8～17年度			
行政方針等	<p>「活力とぬくもりのある交流文化村をめざして」をシンボルテーマとする第3次朝日村総合計画において次の5つの基本目標を掲げ、村づくりを展開している。</p> <p>自然と共生し、安らぎと温もりのある村 活力あふれる産業で豊かな生活を築く村 健康で生きがいのもてる村 創造性豊かな人づくりと文化の薫る村 村民の参加と連帯による村</p>					重点事業		<ul style="list-style-type: none"> ・移動通信用鉄塔施設整備事業 H13～14 ・南部地区農村振興整備事業 H14～18 ・産業団地造成事業 H10～14 ・下水道施設整備事業 H 6～17 ・林業地域総合整備事業 H11～15 			
都市宣言等	非核平和の村宣言 健康と福祉の村づくり宣言										
特色ある条例	朝日村の豊かで美しい自然と環境を守る条例										
姉妹・友好都市	墨田区(東京都)と友好協力協定を締結										
普通会計決算状況	区分	歳入		地方税		地方譲与税	地方交付税	国支出金	県支出金	地方債	その他
	11年度	5,136 (100.0)		540 (10.5)		55 (1.1)	2,660 (51.8)	307 (6.0)	466 (9.1)	511 (9.9)	597 (11.6)
	12年度	5,197 (100.0)		502 (9.7)		58 (1.1)	2,666 (51.3)	270 (5.2)	551 (10.6)	607 (11.7)	543 (10.4)
	13年度	4,934 (100.0)		496 (10.1)		59 (1.2)	2,486 (50.4)	291 (5.9)	366 (7.4)	589 (11.9)	647 (13.1)
	区分	歳出		人件費		物件費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	その他
	11年度	5,058 (100.0)		1,074 (21.2)		671 (13.3)	255 (5.0)	404 (8.0)	1,158 (22.9)	774 (15.3)	722 (14.3)
	12年度	5,083 (100.0)		1,050 (20.7)		564 (11.1)	110 (2.2)	475 (9.3)	1,335 (26.3)	781 (15.4)	768 (15.1)
	13年度	4,804 (100.0)		1,067 (22.2)		617 (12.9)	126 (2.6)	486 (10.1)	1,070 (22.3)	790 (16.4)	648 (13.5)
	区分	形式収支	実質収支	標準財政規模	地方債現在高	積立金現在高	実質収支比率	財政力指数	公債費比率	起債制限比率	経常収支比率
	(百万)	11年度	77	58	3,106	5,213	1,380	1.9	0.185	14.8	11.0
(%)	12年度	114	97	3,129	5,220	1,234	3.1	0.184	13.6	10.3	88.5
	13年度	130	70	2,949	5,179	1,111	2.4	0.187	13.5	10.2	92.1
公共施設設備状況 (H13公共施設状況調査)	道路延長	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率			下水道等普及率		し尿衛生処理率	ごみ焼却処理率
	173 km	69.4%	70.7%	98.4%	96.1%			66.1%		90.5%	37.7%
	公営住宅等	公園	人口一人当たり公園面積		病院	診療所	公民館	保育所	児童館	幼稚園	
	20戸		0.0㎡(行政区域内)			4ヶ所	3館	4ヶ所			
	小学校	中学校	高等学校	高専短大	大学						
	4校	1校									
行事・祭等	タキタロウまつり 月山ワインまつり 産業文化まつり 庄内あさひ新そばまつり 雪とぴあ 月山文学祭 バンジージャンプ										
名所・旧跡等	大鳥池 多層民家 大日坊 注連寺 湯殿山 即身仏 湯殿山スキー場 月山あさひ博物村										
特産品・名物	月山ワイン 月山筍 ナメコ ゼンマイ ワラビ 山ぶどうジュース										
主要企業等	スズモト(株)										
郷土出身者	宮本和吉(哲学者) 本多猪四郎(映画監督) 渡部星村(彫刻家) 渡部三郎(スキーヤー)										
市町村振興協会資金充当事業	サンライズスポーツエリア整備事業(H4～6)										

朝日村政の現状・方針（概要）

1．村の概要

(1) 沿革

六十里越街道沿いのむらとして栄えた「東村」と鉾山を中心に栄えた「大泉村」、平坦地が比較的によく、農業が盛んな「本郷村」の3村が、昭和29年に田川地区で最初に合併し、「朝日村」が誕生した。

(2) 地勢

庄内南部の最南端に位置し、総面積 569.17 km²で県内第2の広さを持つ山村である。東に梵字川、西に赤川が流れ、村の中心部落合で合流し、庄内平野を潤している。森林面積が94%を占めており、農地及び宅地は3%と少ない。国立公園が42%を占め、村民の共有財産である村有林を2,700ha有している。

(3) 人口

昭和29年の合併時には14,962人だったのが、平成12年には5,864人と60%減少している。特に、合併から15年間で45%も減少しており、大泉鉾山の閉山が大きな原因である。

(4) 財政

平成13年度普通会計決算の歳入総額は49億円で、地方交付税が50%、村税は10%となっている。

財政指標は、公債費比率13.5%、起債制限比率10.2%、経常収支比率92.1%となっている。

2．村が誇れる資源・人材

(1) 月山ワインに代表される山のめぐみたち

- ・山ぶどう生産量 112t、ワイン14万本、ジュース 5万本
- ・わらび ・ぜんまい ・きのこ など

(2) 月山あさひ博物村

- ・アマゾン自然館 ・山ぶどう研究所 ・文化創造館
- ・トンネルピット ・そば処「大梵字」

* 山菜まつり、月山ワイン新酒フェスタ、キジ汁まつりなど地域に根ざしたイベントを開催し地域振興に繋げている。

(3) 自然いっぱいの大地は遊びのフィールド

- ・梵字川のラフティング ・バンジージャンプ ・湯殿山スキー場

・オートキャンプ ・カヌー ・溪流釣り ・登山 ・ゴルフ場 など

(4) 優れた人材

・鷹匠 松原英俊さん ・スキーマー 渡部三郎さん
・映画「ゴジラ」監督 本多猪四郎さん ・哲学者 宮本和吉さん

(5) 誇れる資源

・信仰の山“湯殿山” ・伝説の巨大魚タキタロウが棲む“大鳥池”
・庄内南部の水源地“月山ダム”・庄内の玄関口“高速道路IC2カ所”

3 . 朝日村のむらづくり

第3次朝日村総合計画に基づき、村づくりを行なっています。

メインテーマは

「活力とぬくもりのある交流文化村をめざして」

基本目標は

- 1 . 自然と共生し、安らぎと温もりのある村
- 2 . 活力あふれる産業で、豊かな生活を築く村
- 3 . 健康で、生きがいのもてる村
- 4 . 創造性豊かな人づくりと、文化の薫る村
- 5 . 村民の参加と、連帯による村 の5項目です。

具体的施策として

1) 有効な土地利用

村の中心部である落合地区に、住宅団地の造成や賃貸住宅等を整備するとともに、移入定住化を図るため情報提供等を推進する。

Uターン、Iターン、Jターンの積極的な受け入れ。

2) 交通通信体系の整備

雪に強い道路整備など「生活を支える道路の整備」を基本目標に、新しい交流圏の形成と生活圏の一体化を支える道路整備を推進する。

次世代のインフラとして重要視されている双方向ケーブルによる情報通信網としてのCATVやインターネットなどの各種施設整備を積極的に推進し、情報過疎の解消を図る。

高度情報化社会背景に、地域における高度情報通信基盤の整備を進めるとともに、次世代携帯電話も含む移動体通信サービスエリアの拡大を図る。

3) 生産性を高める農業の振興

農地の有効活用や山地開発による振興を図るため、農道の整備を促進し、基幹となる農道については改良舗装を推進する。

農産物が消費者から選択されるように、加工、産直等の起業活動に対する支援を行い、農業の総合産業化を推進する。

地場産品を見直し、「地産地消」の推進を図る。

消費者の安全、健康志向ニーズに対応した朝日村ブランドづくりを推進する。

4) 森林の保全と親しめる林業の振興

特用林産物の開発と資源保護を積極的に推進するとともに、加工業、製造業、観光産業との結合による多面的な活用を図る。

森林の総合的な利用と整備を図ることにより、広大な国有林野の有効活用で地場産業の形成及び観光振興を促進するため、林道の整備を積極的に推進する。

5) 活力と若者の定住を目指す工業の振興

地域の担い手となる若年層の定住促進を図るためには、産業を振興し、魅力ある多様な就業の場を提供することが重要である。このため、産業基盤の整備、中小企業の育成、企業導入の促進等により、所得の増大と雇用の確保を図る。

高速道路インターチェンジ脇に造成した朝日村産業団地への企業誘致を推進する。

6) 観光の振興とネットワーク化

自然志向・アウトドア志向に対応したより魅力的な施設の整備を行い、朝日村を1つのイメージとして発信できるコンセプトをつくる。

ソフト面の機能の充実を図りながら、既存観光施設をグレードアップし、地域の伝統芸能や伝統工芸等を観光資源として捉えて、積極的な活用を図る。

7) きめ細やかな心かよう福祉の充実

本格的な高齢社会に備えるため、「一人ひとりの尊厳と自立が得られ、活力に満ちた安心のひろがる長寿社会」の実現を目標に、地域における総合的なケア体制を構築していく。

障害を持つ方が、あらゆる分野での社会参加が促進されるように、在宅福祉サービス、施設福祉サービス等を総合的に提供できる体制の整備を図る。

シルバーパワー、ボランティア活動を活かした「ともに支えあう心豊かな地域」づくりで福祉を推進する。

8) 健康を守る保健・医療の充実

高齢者が健やかで生き生きとした生活をおくることができるよう、健康づくり対策をより一層充実強化する。

健康の里「ふっくら」を拠点とした保健活動や保健予防活動の充実を図る。

地元産の農産物を活かした安全で豊かな食の充実や、個々人の能動的な健康の維持・増進を支援する。

かたくり温泉「ぼんぼ」を利用した健康づくりを推進する。

9) 幼児教育の振興

安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めるため、既存の施設を活用し、地域の子育て相談に対応できる相談機能を付加するなど多機能化を図る。

多様化するニーズに対応した保育サービスを供給できる体制の確保を図る。

保育サービスの充実と保育園施設整備を実施し、子育て支援事業を積極的に推進する。

10) 創造的で明るく楽しい学校教育の振興

本村の教育基本方針である「知性と情熱にあふれ、心身ともにたくましく、創造力に富む人間の育成」を目指し、学習内容の充実を図る。

保・小・中の一貫性を図り、学・社一体となった教育の充実を推進する。

コンピューターや教育機器の充実など教育環境の整備を図る。

11) 生きがいを求める生涯学習の推進

朝日村らしい住みよさの追求と創造、山村に生きる価値観を発見するため、生涯学習社会の実現を積極的に推進する。

社会教育、コミュニティ活動等の中核施設としての機能を持たせるため、公民館等の各種集会施設の整備を図る。

学習し、集い、語らい、本を読み、お茶を飲み、くつろげるサロンとして中央生涯学習施設「すまいる」の機能充実を図る。

12) 活力を生むスポーツの振興

スポーツに対する村民のニーズの高まりに的確に対応していく。

13) 心のぬくもりを感じる文化の創造

「ものの豊かさ」だけでなく、「心の豊かさ」が重視されてきており、長い歴史の中で生まれ、伝えられてきた伝統文化を継承し、時代の変化に対応しながら次の世代へ伝えていく活動や、新しい文化を創造する活動など、日々の生活における文化活動への行政的支援を充実する。

村民のあらゆる文化活動を支援するため、芸術文化団体の育成に努めるとともに、優れた芸術文化を鑑賞する機会や創作発表会の充実等、文化的環境の整備と文化活動の場づくりを促進する。

- ・獅子舞や神楽など伝統芸能が、地域のなかで受け継がれている。
- ・小説「月山」で芥川賞を受賞した故森敦氏を囲んで始まった月山祭が、中学生の感性教育として継続されている。

14) 地域間交流・国際交流

豊かな自然の中で、現代生活の見直しと、未来文化の新しい掘り起こし、創造性のある人づくりのため、国際交流事業、都市との交流を強力に推進する。

- ・中学生、高校生による国際民間大使の派遣
- ・墨田区との子どもたちの相互交流

朝日村これからのむらづくり

『朝日村さしさ』をさらに伸ばし活用していくこと

「朝日村らしさ」とは

広大な山地 豊かな自然 美しい景観 きれいな水 豊富な雪
歴史・文化 地域のつながり、助け合う人情 庄内の玄関口
高速道路 I C 2 ヵ所

1. 広大な中山間地、恵まれた自然の活用

産業振興

山間地の地理的条件・気候条件を最大限に活かした農産物の振興を目指し、生産から加工、販売まで一貫した農産物の高付加価値づくりや、消費者から信頼される安全でおいしい高品質な農産物の生産を確立していくとともに、学校給食に供給するなど「地産地消」を積極的に推進していく。

山ぶどうの生産拡大と「月山ワイン」の普及

山菜、きのこ、行者にんにくなど特用林産物の栽培普及

そば栽培の振興と消費拡大

昨年初めて「新そばまつり」を開催し、大きな反響を得た。内陸に負けないそば文化を創るため、広域的な連携を図っていく。

森林（広大な村有林を含む。）整備と木材の活用

観光山菜園、かたくり園、きのこのオーナー制度の拡充

加工施設、直売施設の整備・充実

観光振興

朝日村の持つ自然景観、資源を高度に活用した観光の形成と自然、文化、信仰などの名所、景勝地を活用した観光振興を目指していく。

あわせて、豊かな心を育む自然体験や、癒しの場としての体験観光の充実に推進していく。

大鳥少年の家を中心とした自然体験学習の充実

都市との交流を図る山村留学の実施

タキタロウ村の支援、振興

磐梯朝日国立公園への登山客、溪流つり客の誘客を図る

山岳信仰（湯殿山、大日坊、注連寺）と旧六十里越街道トレッキングの普及

庄内一の規模を誇る湯殿山スキー場の振興。

自然の動植物や鳥獣類の観察とふれあいの場の整備

2. 豪雪の村 “克雪”“利雪”対策

生活関連整備

交通や日常生活の不便性を克服し、除雪体制の充実とともに雪に強い克雪住宅の普及促進や熱エネルギーの活用研究などを推進していく。

道路の完全除雪及び除雪基地の整備

克雪住宅など雪対策事業への支援拡充

克雪タウン計画の推進

産業関連整備

雪と共生するには、豊富な雪を資源であると考え、雪室等を活用して農産物の抑制栽培を推進し、農家の所得拡大を図っていく。

雪室、雪トンネルを活用した山菜などの抑制栽培の推進

積雪地という地理的条件や気候条件を活かした農林産物の振興

3. 他地域との距離の克服

道路・交通網の整備

集落が山間地に点在しており、道路網及び交通網の整備は欠くことのできない重要課題であり、簡易に通勤・通学できる環境整備を推進していく。

広域化による距離、時間の短縮に向けた道路網の整備

公共交通網（路線バス、住民バス）の充実

情報・通信体系の整備

情報通信関連技術が急速に進展している中で、どこに住んでいても同じ行政サービスを受けられるよう情報・通信体系の整備を推進していく。

テレビ、携帯電話の難視聴地域の解消

情報無線、ケーブルテレビ、IT関連の整備

村として果たす役割

- ・ 水源の村として、自然を保護しきれいな水・空気を提供する。
- ・ 自然景観を守り、憩いの場、癒しの場を提供する。
- ・ 豊かな自然をベースにした安心・安全な農林産物の生産・提供。
- ・ 自然の持つ教育の場を提供する。
- ・ 住みたくなる住環境を提供する。



村花カズクリ



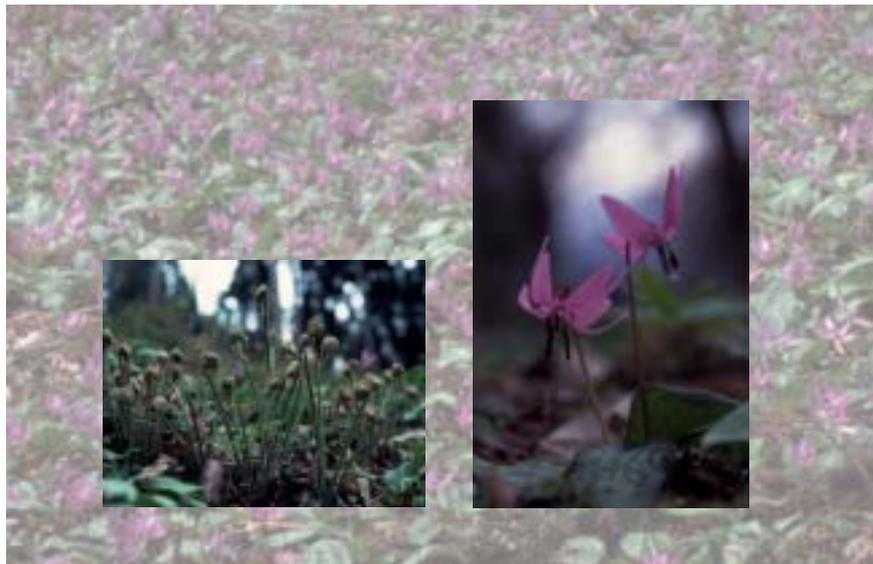
朝日村



村樹フナ

平成15年1月20日

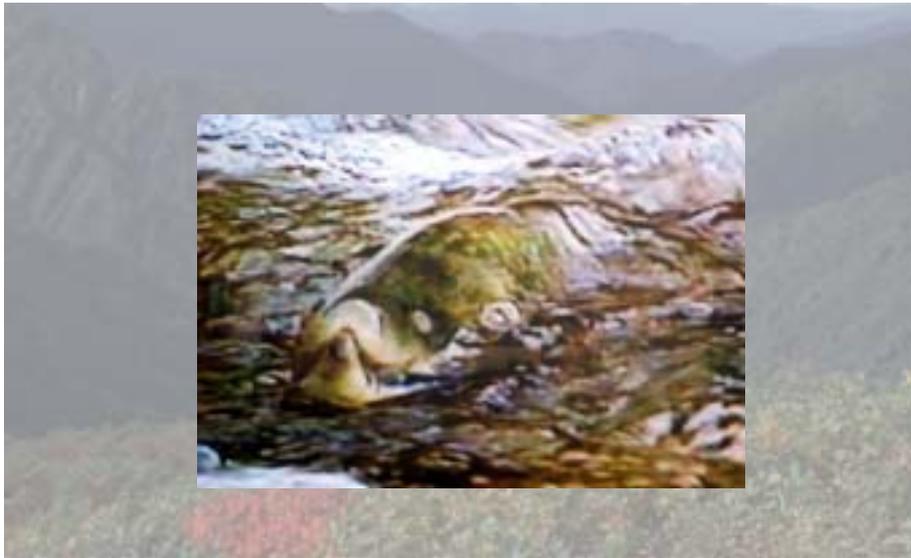
あさひ



あさひ



ふさひ



伝説の巨大魚 「タキタロウ」

ふさひ

むらのおいたち



越中山遺跡は、今から1万数千年以上も前の旧石器時代（無土器時代）庄内で最も古い“くらしのあと”



月山や湯殿山の信仰が盛んになるにつれ、赤川や梵字川沿いに今日の集落のもとになるものが形成

- ・六十里街道沿いの村として栄えた旧東村
- ・鉢山を中心に栄えた旧大泉村
- ・平坦地が比較的多く、農業の盛んな旧本郷村

昭和29年合併

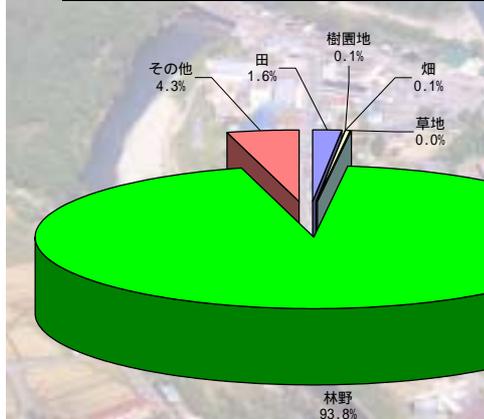
「朝日村は」磐梯・朝日国立公園・朝日連峰のふもとにあり、また朝日は昇天の勢いを表わし、村の発展を象徴して命名

あすて

・朝日村の地勢

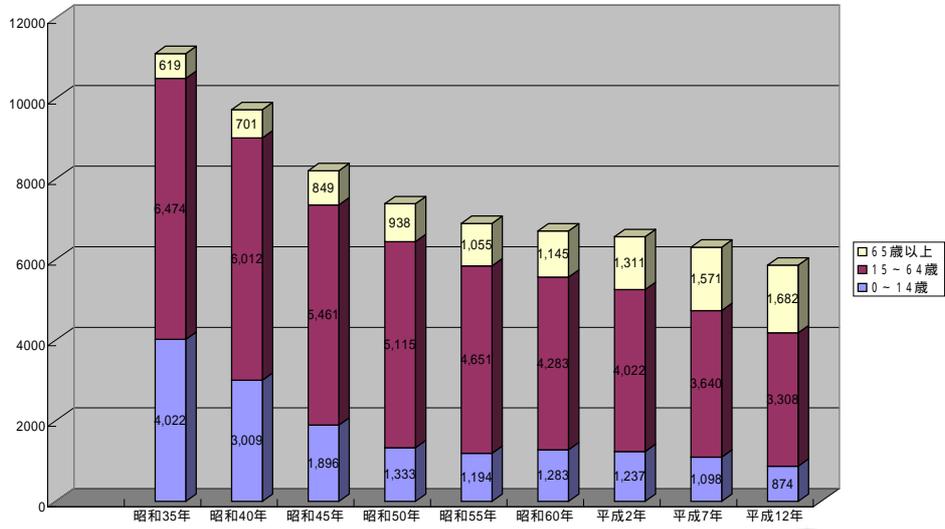
単位：ha

総土地面積	耕地面積							草地	林野面積			その他面積
	計	田	畑	樹園地	果樹園	茶園	桑園		計	森林	原野	
56,917	1,083	936	65	82	81		1	15	53,374	51,941	1,433	2,445
構成比(%)	1.90%	1.64%	0.11%	0.14%	0.14%		0.00%	0.03%	93.78%	91.26%	2.52%	4.30%



あすて

朝日村の人口の推移



朝日村の人口・世帯数の推移

・田麦俣の多層民家

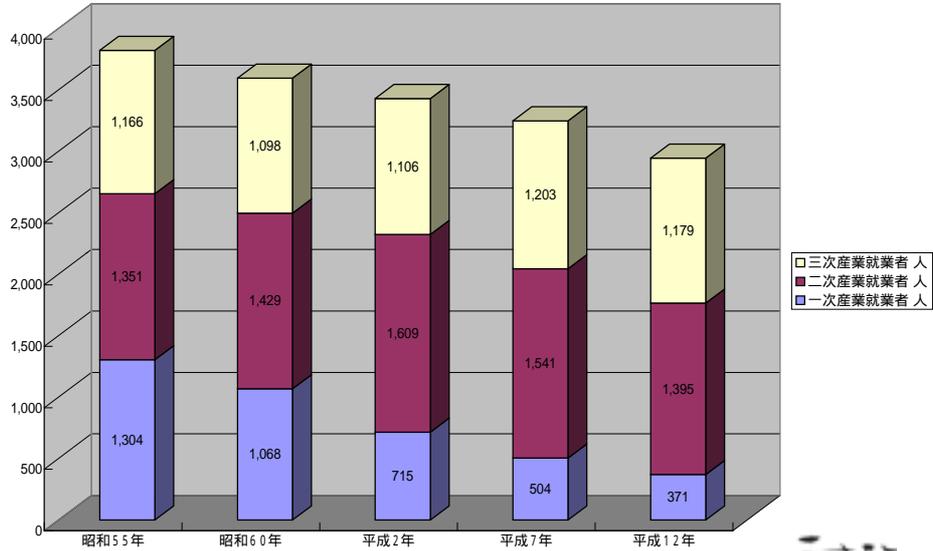


・七五三掛桜



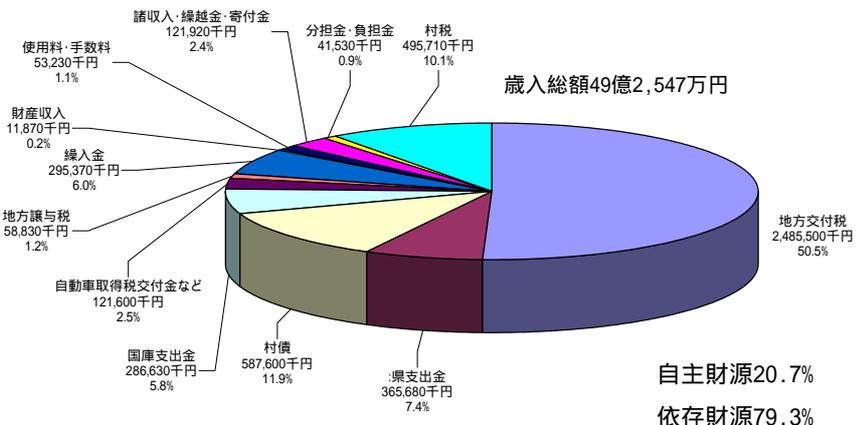
区分	人口	世帯数	高齢化率
昭和35年	11,115	1,938	5.6%
昭和40年	9,722	1,844	7.2%
昭和45年	8,206	1,755	10.3%
昭和50年	7,386	1,653	12.7%
昭和55年	6,900	1,518	15.3%
昭和60年	6,711	1,499	17.1%
平成2年	6,570	1,493	20.0%
平成7年	6,309	1,417	24.9%
平成12年	5,864	1,368	28.7%

朝日村の就業構造の推移



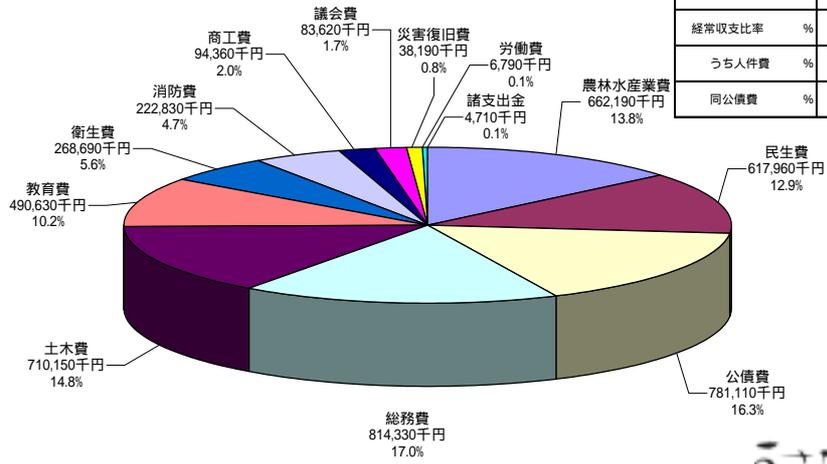
村財政の概要

平成13年度決算



村財政の概要

歳出総額47億9,556万円



主要財政指標

財政力指数 (3ヶ年平均)	0.187
公債費比率 %	13.5
起債制限比率 (3ヶ年平均) %	10.2
公債費負担比率 %	21.9
経常収支比率 %	92.1
うち人件費 %	32.0
同公債費 %	25.4

「朝日村の資源」

月山ワインに代表される山のめぐみたち



・アケビの栽培

・山ぶどうの生産拡大
と月山ワインの普及

H14実績 ワイン14万本 果汁5万本

「朝日村の資源」

月山ワインに代表される山のめぐみたち



・炭焼き窯



・ぜんまい、
ワラビ等の山
菜やきのこの
栽培



るさてい

「朝日村の資源」

朝日村の情報発信施設「月山あさひ博物村」



・「月山あさひ博物村」は、「アマゾン自然館」、山ぶどうを原料にした「月山ワイン」を醸造する「山ぶどう研究所」、文学・芸術を集結した「文化創造館」、廃道となったトンネルを活用した「トンネルピット」、手打ち蕎麦を楽しむそば処「大梵字」などで構成される複合施設。

るさてい

「朝日村の資源」

自然いっぱいの大地は遊びのフィールド



・豪快な梵字川
ラフティング

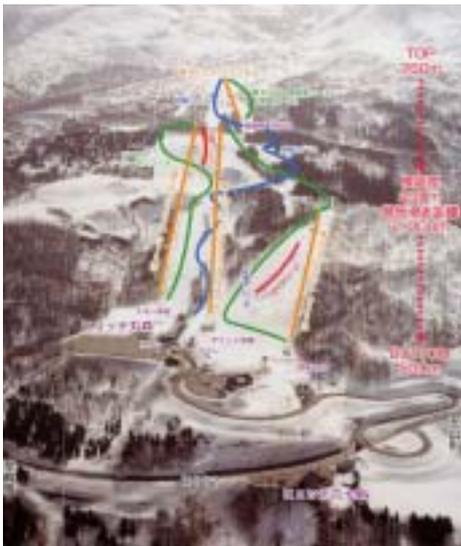


・バンジージャンプ

あさひ

「朝日村の資源」

自然いっぱいの大地は遊びのフィールド



・庄内一の規模を誇る湯殿山スキー場。
シーズンは11月下旬から4月上旬。

あさひ

「朝日村の資源」

自然いっぱい大地は遊びのフィールド



・オートキャンプ場



・朝日カントリークラブ



・カヌー

るさてい

「朝日村の資源」

不思議ロマン・・・朝日村



・鷹匠 松原英俊氏



・基礎スキーの渡部三郎氏

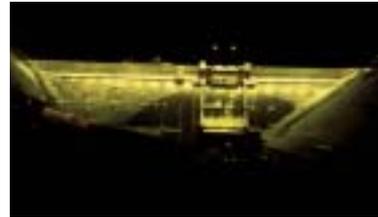
るさてい

「朝日村の資源」 不思議ロマン・・・朝日村

・
信仰の山
湯殿山

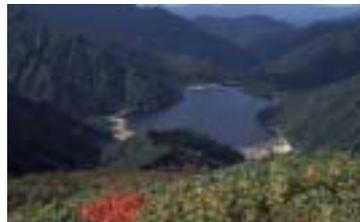


・月山ダム



・庄内の陸の玄関口 朝日村

・伝説の巨大魚タキタロウ
が棲む大鳥池



るすて

朝日村のむらづくり

活力と、ぬくもりのある交流文化村を
めざして。

- ・自然と共生し、安らぎと温もりのある村。
- ・活力あふれる産業で、豊かな生活を築く村。
- ・健康で生きがいのもてる村。
- ・創造性豊かな人づくりと、文化の薫る村。
- ・村民の参加と連帯による村。

るすて

自然と共生し、安らぎと温もりのある村。

有効な土地利用
交通通信体系の整備
快適な生活環境の整備



あさひ

有効な土地利用



・朝日村 落合住宅団地

住宅団地の造成により村内定住を促進。

定住対策のため、賃貸住宅等整備を推進。

移入定住化を図るため、情報提供等の条件整備を推進。

あさひ

交通通信体系の整備

雪に強い道路整備など、新しい交流圏の形成と生活圏の一体化。



情報通信網としてのCATVや、インターネットサービスなどの整備計画による情報過疎の解消。

高度情報通信基盤の整備を進め、次世代携帯電話も含む移動体通信サービスエリアの拡大。



活力あふれる産業で、豊かな生活を築く村。

生産性を高める農業の振興
森林の保全と親しめる林業の振興
活力と若者の定住を目指す工業の振興
観光の振興とネットワーク化

生産性を高める農業の振興

農地の有効活用や山地開発による振興を図るため、農道の整備を促進。



加工・産直等の起業活動に対する支援を行い、農業の総合産業化を推進。



るすて

生産性を高める農業の振興

「地産地消の運動」を推進し、特色ある地元農産物販売を図る。



・大網放牧場



・そば栽培



・夏秋きゅうり

・アケビ栽培

るすて

森林の保全と親しめる林業の振興

特用林産物の開発と資源保護を積極的に推進。



広大な森林の有効活用で地場産業の形成及び観光振興を促進。



・観光栗園

・早稲田大学生による枝打ち体験



朝日

活力と若者の定住を目指す工業の振興

多様な就業の場を確保するため、恵まれた立地条件にある「朝日村産業団地」への積極的な企業導入。

・朝日村産業団地



朝日

観光の振興とネットワーク化

自然志向・アウトドア志向に対応し、朝日村を一つのイメージとして発信できるコンセプト。



あさひ

観光の振興とネットワーク化

地域の伝統芸能や伝統工芸等も観光資源として捉えて積極的な活用。

・即身仏が安置される
大日坊と注連寺



あさひ

健康で生きがいのもてる村。

きめ細かな心かよう福祉の充実
健康を守る保健・医療の充実



・温泉入浴施設ぼんぼ

あすこ

きめ細かな心かよう福祉の充実



本格的な高齢社会に備えるため、総合的なケア体制を構築。

在宅福祉、施設福祉などを総合的に提供できる体制の構築。



あすこ

健康を守る保健・医療の充実

健康の里「ふっくら」を拠点とした保健活動の推進と健康づくり対策の充実。



二つの公立診療所による医療と保健予防活動の充実。

ふっくら

創造性豊かな人づくりと、 文化の薫る村。

幼児教育の振興

創造的で明るく楽しい学校教育の振興

生きがいを求める生涯学習の推進

活力を生むスポーツの振興

心のぬくもりを感じる文化の創造

地域間交流・国際交流

ふっくら

幼児教育の振興

安心して子どもを育てることができるよう、子育て相談機能などの多機能化。



多様化するニーズに対応した保育サービスの充実と子育て支援事業の推進。

るすてい

創造的で明るく楽しい学校教育の振興

「知恵と情熱にあふれ、心身ともにたくましく、創造力に富む人間の育成」を目指した学習内容の充実。



・田植え体験



・ジュニアキャンプ

るすてい

創造的で明るく楽しい学校教育の振興



保・小・中教育の一貫性を図り、学・社一体となった教育の充実。

コンピュータや、教育機器の充実など、教育環境の整備。

あすこ

生きがいを求める生涯学習の推進

朝日村らしい住みよさの追及と創造、山村に生きる価値観を発見するため、生涯学習社会の実現。



生涯学習施設としての中央公民館機能の充実や、コミュニティ活動等の中核施設としての機能を持つ集会施設の整備。

かたくりの子 四つの運動

親切運動・あいさつ運動・きたえる運動・愛郷運動

あすこ

活力を生むスポーツの振興

スポーツに対する村民ニーズの高まりに的確に対応。



ふたて

心のぬくもりを感じる文化の創造

伝統文化の継承や、新しい文化を創造する活動など、文化活動への支援。



・地域の感性を育てている月山文学祭



・田麦俣神楽

優れた芸術文化を鑑賞する機会の充実等、文化的環境の整備。

ふたて

地域間交流・国際交流

豊かな自然の中で、創造性のある人づくりのため、国際交流を推進。



・ジュニア民間大使（タイ）

自然環境や、ゆとりに代表される良さを生かし、都市地域との交流を促進。



・雪上で遊ぶ墨田区の子ども達

るさてい

これからのむらづくり

広大な中山間地、恵まれた自然の活用

山間地という地理的条件、気候条件を最大限に活かした農林産物の振興

豊かな心を育む自然体験や、癒しの場としての体験観光の充実

豪雪のむら、克雪・利雪への取り組み

雪を資源と捉えての有効活用

雪を克服し、雪に親しむ

他地域との距離の克服

住む人に距離を感じさせない道路網

物理的距離を克服する情報通信基盤

るさてい

広大な中山間地、恵まれた自然の活用

山間地という地理的条件、気候条件を最大限に活かした農林産物の振興



・山ぶどうの生産拡大と月山ワインの普及



・ぜんまい、ワラビなどの山菜やきのこの栽培

るすい

・そば栽培の振興と消費拡大



・大網放牧場の有効活用



・安心、安全な健康食品の生産

るすい

広大な中山間地、恵まれた自然の活用

豊かな心を育む自然体験や、癒しの場としての体験観光の充実

四季を通じた遊びの提供



・大鳥少年の家を中心とした自然体験学習や都市との交流を図る山村留学



るさてい

・朝日連峰登山



・観光栗園



・自然が満喫できる朝日サンチュアパーク

るさてい

・庄内一の規模を誇る湯殿山スキー場



・梵字川ラフティング体験



・カヌー体験



るさてい

豪雪のむら、克雪・利雪への取り組み

雪を資源と捉えての有効活用

- ・雪を資源として、雪室や雪トンネルによる抑制栽培
- ・積雪地という気象条件を活かした農林産物への特化



・雪を活用した貯蔵施設「雪室」

るさてい



雪を克服し、雪に親しむ

- ・除雪基地整備による完全除雪
- ・雪が苦にならない克雪住宅、生活環境整備



るさて

他地域との距離の克服

住む人に距離を感じさせない道路網の整備



- ・公共交通の充実



- ・広域化による距離、時間を感じさせない道路網

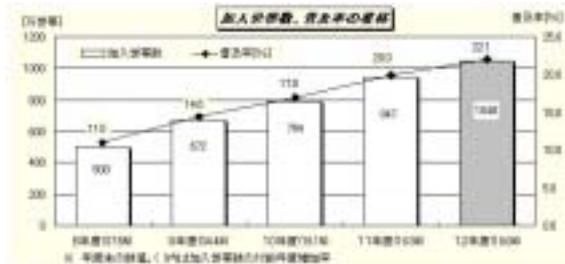
るさて

物理的距離を克服する情報通信基盤



・携帯電話等のエリア拡大

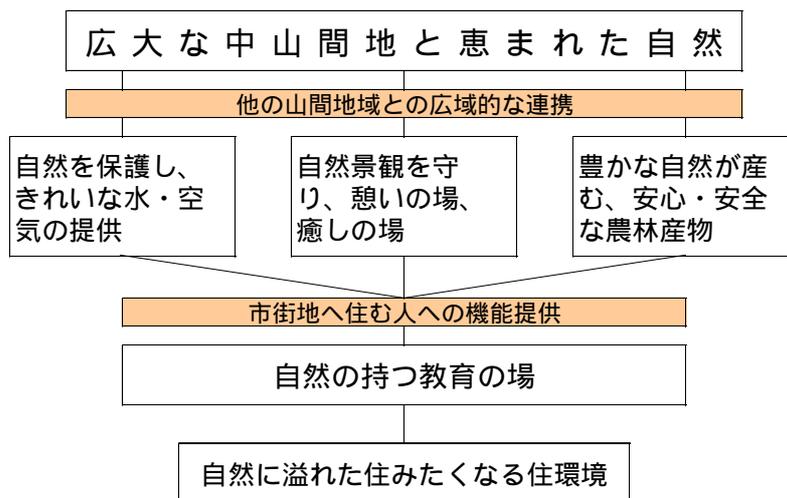
・CATVなどによる広域的な情報通信網の整備による一体感の醸成



全国的なCATVの普及状況

あすてい

新市における朝日村の果たす役割



あすてい